

すくらむ

2025

1月

第232号

令和7年1月3日
発行

西海市社協だより
Saikai City of Welfare with Scrum

迎春 今年も笑い多き年に



福祉6団体交流会のひとコマ

関連記事7ページ



年頭のごあいさつ

安心して暮らせる福祉のまちづくり

市民の皆様、あけましておめでとうございます。皆様には令和7年の初春を健やかに迎えにいられた事と、お慶び申し上げます。

平素より、西海市社会福祉協議会の地域福祉活動や福祉サービスにご理解とご支援を頂き心から御礼を申し上げます。

さて、昨年1月に発生いたしました能登半島を襲った大地震や、豪雨災害など被害に見舞われた皆様は今なお復興の途にあることにお見舞いを申し上げます。

また、8月にも宮崎県沖で発生した大地震を受け、気象庁は南海トラフ地震が発生する可能性が平時に比べて高まったとして「南海トラフ地震臨時情報」を発表しました。昨今、我が国における自然災害の脅威は増すばかりで、災害への備えを日常の中に取り入れる事が必要です。

このようなか、本会は地

域福祉活動、介護保険事業、保育事業、配食事業、西海市からの委託事業、指定管理事業等、職員一体となつて各事業を推進しています。市民の皆様には、年間を通してご協力をいただいている社協会費をはじめ、赤い羽根共同募金等、地域福祉活動を推進する財源確保につきましても、ご理解ご協力を賜つております事に重ねて感謝申し上げます。

近年、社会的孤立や生きづらさを抱える人だけでなく、生活が困窮状態に陥る人も増え、地域における生活課題が複雑化、深刻化しています。こうした課題は既存の社会福祉制度のみならず、新たな課題の解決に向け、雇用・教育・介護・社会保障等の横断的な仕組みの発展が求められるとともに、地域社会全体で課題を抱える人に寄り添い、その生活を支える取り組みを

広げることが求められています。

本会は、令和3年度に市の地域福祉計画とともに策定した第3期西海市地域福祉活動計画を遂行しています。行政、民生委員・児童委員などの関係機関、団体をはじめ、自治会などと、情報の共有や意見交換等、積極的に行い連携を図っています。

昨年9月には、市内の社会福祉関係者並びに市民が地域共生社会の実現に向けてそれぞれの役割の確認と連携の推進を目的とした、第7回西海市社会福祉大会を開催しました。

「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを使命として、地域の福祉力向上と多様化する生活課題に対応できるよう、目標とする将来像「みんなが安心して暮らせる福祉のまち さいかい」の実現に向け、地域の皆様と手を携え、地域福祉



のさらなる充実と、「生活と福祉が隣同士にいる、見逃さない、みてみぬふりをしない、見たら受け止める、つなぎながら一緒に伴走する、人と人のつながる地域共生社会」を目指します。

令和7年は、干支でいいますと、「乙巳（きのこ）・み」の年にあたります。乙（きのこ）は「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がる意味を持ち、巳（み・へび）は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱

皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています。そのため乙巳（きのこ・み）の年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」一年になると考えられています。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

西海市社会福祉協議会
会長 宮崎 正宏



「有馬記念に行きたい」「アンチエイジングをする」
 倫太郎さん (写真左) 坂口信子さん (写真右)
 西彼町



「みんなと助け合って仕事をがんばる」
 原口由美さん
 西海町



「野菜を育てながら地域を見守りたい」
 山本博巳さん
 大瀬戸町



「日本語試験 (N3) に合格する」
 「みんなと仲良くなる」
 チャン フォン タオ さん (写真右)
 チャン ティ タン トウイ さん (写真左)
 大瀬戸町

ちょっと聞いてみました

2025年の幕開けです。市民の皆さんに
 新年の抱負や願いをそれぞれお伺いしました。

新年の抱負



「ドローン免許取得」
 久保山高広さん
 大島町



「一年笑って元気に過ごしたい」
 尾崎和子さん
 崎戸町



「1粒食べ2粒目をほうばり微笑む葡萄を作る事」
 岡本 博さん
 西彼町



「規則正しい生活で、健康な身体を取り戻したい」
 神崎周晃さん
 崎戸町



「体調に気を付けて仕事に、ソフトボールの審判に、頑張る」
 岩下 茂さん
 西海町



「おべんきょうとあいさつをがんばる」
 岡本さんご一家
 ゆめちゃん ゆうまくん
 大島町

楽しみながら募金ができたよ

県共同募金会西海市支会主催で、赤い羽根チャリティーイベントが開催されました。

釣り大会



抽選会で特大の伊勢海老に、にっこり

11月10日、崎戸トンボ公園で第17回赤い羽根チャリティー釣り大会を開催。25人の参加者は西海市内の各スポットで釣果を競いました。

大物賞は約3キロのダツ、あらかぶ賞は総重量約3キロ、特別賞はミノカサゴを釣り上げた参加者がそれぞれ栄冠を手に入れました。

大物賞を手にした参加者はさつそく、新鮮な魚を食べる準備を始めていました。

グラウンドゴルフ大会



ロングコースで
パワフルショット!

11月21日、大瀬戸総合運動公園で赤い羽根チャリティーグラウンドゴルフ大会が開催され、各町から35チームが参加しました。

圧巻だったのは、1ホールで5人中4人がホールインワンを達成した場面。一方でギャラリーのベンチへボールが飛び込み、そこからボールを打つことも。

参加者は小石やコースの凹凸に苦戦しながらも、見事なクラブさばきでプレーを楽しんでいました。

パークゴルフ大会



快晴の中元気にプレー

10月27日、大島パークゴルフ場で赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会が開催され、全18ホールをまわってスコアを競いました。

この日の参加者は34人。パークゴルフ特有の木や砂利、バンカーなどの障害物コースに悪戦苦闘しながらも、参加者は緑鮮やかな芝を踏みしめ、爽やかにプレーを楽しみました。

交流ボウリング大会



特別賞のこむかえこども園のみなさん

11月22日、佐世保市のパラダイスボウルで赤い羽根チャリティー交流ボウリング大会を開催。市内の事業所や、その家族など全25チーム100人が集まり、交流を深めました。

参加者は普段見れないお互いのプレーで意外な一面を発見したり、連続でストライクを出した際は大きな歓声が上がっていました。

また、仮装をして会場を盛り上げるチームもあり、大盛況の内に終了しました。

あなたの会費が
地域を支えています

社協法人会員のお知らせ
令和6年10月25日以降受付
の法人会員
(施設・事業所、敬称略)

西彼町

(株)健康ヘルスケアせいひ調剤薬局
(有)西彼清掃
(株)山倉屋

西海市外

(株)アイコック
アクア工学(株)
絆データシステム(株)
九州ワーク(株)
協和商工(株)
下田商事(株)
(株)昭和堂長崎支店
ダンソフトウエア(株)
(有)トーコー
(株)微研テクノス

(12月11日時点)

会員加入は強制ではありませんが、年間を通して社協会員を募集しています。社協活動にご賛同いただき、一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

地域の「助け合い」を学ぶ

(大島町)

11月14日、大島離島開発総合センターで西海市包括支援センター主催の令和6年度第1回「地域助け合い勉強会」が開催されました。

勉強会は10月に大島町で行われた「地域助け合いフォーラム」の振り返りと、地域の困りごとや課題について話し合う場として、住民や福祉関係者がグループワークや助け合いゲームを通して地域の事を考えるきっかけとなりました。

グループワークでは、「地域で困っていることは」と「地域であつたら良いなと



助け合いゲームで意見交換をする参加者

次回開催日

第3回 令和7年1月17日 (金)

18:30~20:00

第4回 令和7年2月28日 (金)

13:30~15:00

場 所：大島離島開発総合センター

対 象：地域の事に関心がある方、行政区長、民生委員・児童委員、福祉推進員等

参加費： 無 料

(問合せ先)

西海市地域包括支援センター

☎ 0959-37-0245

西海市社会福祉協議会大島支所

☎ 0959-34-2278

思う助け合いは」の2つのテーマで話し合い、困っていることで一番多かったのは、「外出時の移動手段が少ない」との意見が多数を占めました。一方、地域にあつたら良いなと思う活動は、崎戸町の「おたすけマン」のような互助グループがあればという声が多く聞かれました。

また、助け合いゲームでは、自己紹介と共に6種類のカードから「自分がしてほしいこと」を書いた3枚を選び、「誰かこれをしてくれませんか？」とグループ内で交渉。交渉が成立す

ると笑顔で握手をして拍手で祝福し、声に出して助け合うことの大事さを学んだようでした。

西海市社協大島支所の職員は「個人の困りごとから地域のニーズを把握し、その解決策をみんなで話し合い、実行に移すことの大切さを再認識できた」と話し、参加者も「みんなと意見を交わし、地域の事に向き合う貴重な時間となった。次の勉強会も参加したい」と話しました。次回は左記のとおり開催予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

この研修は、心の病気に対する差別や偏見をなくし、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会の実現へ向けて行われたものです。

「ココサポ」 ご存じですか？

11月26日、西彼保健福祉センターで、厚生労働省委託事業「心のサポーター養成研修」を市福祉課が開催し民生委員・児童委員など28人が参加しました。

心のサポーター（ココサポ）とは、身近な人の心の不調に気づき、耳を傾け、「てあて」をできる人の事です。

この研修は、心の病気に対する差別や偏見をなくし、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会の実現へ向けて行われたものです。

講師の鎮西学院大学の山口弘幸教授は、サポーターの心構えや、心の健康状態を踏まえ、困っている人へのサポーターの仕方などを参加者に伝えました。

その後の参加者同士のペアワークでは、研修で学んだ聴き方のコツを用いて「聴く」ことを実践し、身近な人や普段接する人に明日からどのように関わることができるかについて、意見を交わしました。

山口教授は「聴く姿勢を大事にしながら相手に寄り添い、あるがままに聴くということが特に大切、常に本人の意思を尊重し自分の考えを押しつけないこと」と話し、見た目にはわかりづらい心の病気についての理解を求めました。

参加者は、「今後は話し相手に寄り添い、相手が伝えたいことをしっかりと汲み取り、話を整理しながら丁寧に相談を受けていきたい」と語ってくれました。

寒い冬でもあったか ファミリーサポート交流会

12月1日、西海総合福祉センターでファミリーサポート交流会を開催しました。

この交流会は会員同士の交流や情報交換の場として、事業や活動内容の周知を目的として行っており、この日は8家族の会員が参加。輪投げや福笑い、クリスマススノードーム作りで交流しました。

スノードーム作りでは、参加者がこだわりの材料で作品をつくり、お互い見せ合いながらキラキラと雪が舞うように落ちる様子に子どもたちは目を輝かせていました。

輪投げでは、上級生が下級生に投げ方を優しく教え、ほっこりする場面もあり、心も温まりました。



全員ではい、ポーズ

ファミリー・サポート・センターとは？

住民相互の子育て支援の仕組みです。子育てのお手伝いをしたい方（提供会員）とお手伝いをしてほしい方（依頼会員）の双方に登録をいただき、専門のアドバイザーが、その橋渡しをします。登録は無料ですが、依頼会員が提供会員に子育てのお手伝いを依頼したときに、料金を支払うことになります。

こんな時はファミサポ！

- ・子ども連れでは外出が難しい。でも行かなくちゃ！
- ・保育園のお迎えが間に合わない。
- ・片付けたいけど、赤ちゃんから目が離せない！
- ・保護者の病気の時に子どもを預けたい。
- ・たまには一人でリフレッシュ

問い合わせ先：大島児童館内
ファミリー・サポート・センターさいかい
☎ 0959-34-2139 担当：麻生



輪投げの様子「それっ！」

今回の開催は夏頃を予定していますのでご参加をお待ちしています。

ホワイトパンプキン、熱演チャリティーコンサート



参加者のアンコールにも応えたホワイトパンプキンのメンバー

11月3日、ホワイトパンプキンは崎戸中央公民館で昨年に続き、復活第二弾のチャリティーコンサートを開き、熱い演奏を披露しました。

ゲストに家族バンド「TFB」を迎え、全24曲を披露。「舟歌」や「時代」など懐かしの昭和の名曲や、「夜空ノムコウ」など平成の曲を演奏し、曲の間には曲が流行った当時のエピソードをユーモアたっぷりに語りました。

メンバーの山口広正さんは、「コンサートに向けてメンバーは日頃忙しい合間を縫って練習してきた。仲間達が全国各地からまた集まってくれた事がとても嬉しい」と話し、終わりに「これからも様々な曲に挑戦していきたいのでリクエストをお待ちします」と、次のコンサートへの意気込みを話しました。

今回もコンサートの収益は、地域福祉へ役立ててほしいと社協に寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

eスポーツ

「太鼓の達人」に 会場沸く



会場に響く賑やかな太鼓の音

12月8日西海総合福祉センターで「福祉6団体交流会」が開催されました。

福祉6団体は「老人クラブ連合会」「身体障害者福祉協会」「手をつなぐ育成会」「母子寡婦福祉会」「民生委員児童委員協議会」「療育を考える会」のことです。

この日は43人が参加し、各団体の活動内容を紹介。

その後のeスポーツ交流会では、太鼓を叩くりズムに合わせて会場全体がスティックバルーンを

叩き、盛り上がりました。

参加者からは「今回は他団体の活動内容が聞けて勉強になった。所属団体でも色々な活動を行いたいと思う」という声や、「eスポーツが体験できてとても良い取組みだと感じた。是非団体でも検討してみたい」という声が聞かれました。

各団体入会希望の方は、西海市福祉団体連絡協議会（☎29-4111）まで

©BANDAI NAMCO Entertainment Inc

感謝

次の方々から心温まる善意の物品寄付をいただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。ご温情に感謝申し上げます。

○令和5年10/25〜令和6年10/31受付分

◆西彼町
◆近藤 美子様
◆匿名希望3件

◆西海町
◆白元 真子様
◆匿名希望2件
◆大島町
◆石田 しおり様
◆西 英敏様
◆小橋 直己様
◆環境美化を考える会様
◆匿名希望3件
◆匿名希望2件
◆大瀬戸町
◆嬉野 由美子様
◆匿名希望9件
◆市外
◆匿名希望1件

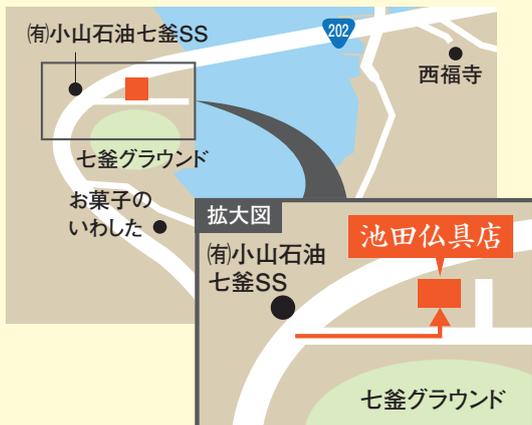


小橋直己様からスカットボールをいただきました

有料広告

<見積無料>

仏壇・仏具の販売・製作・修理・移設・処分など、お気軽にご相談ください。



池田仏具店

西海市西海町七釜郷567-29

電話・FAX 0959-33-2123

すくらむ発行は奇数月です

お困りではありませんか?
法律問題
 ご相談ください
 要予約

相談無料

借金や離婚、土地、遺産相続など法律上のことでお困りではありませんか。暮らしの困りごとを解決するため、弁護士がご相談に応じます。
 ※状況によっては、リモートでの相談となります。

◆ 2月20日(木) 相談時間 13時～17時
 場所：西海市社協大島支所
 大島町 1832 番地 1

◆ 3月13日(木) 相談時間 13時～17時
 場所：西海市社協大瀬戸支所
 大瀬戸町瀬戸板浦郷920番地12

予約先
 西海市社会福祉協議会 **電話29-4081**

暮らしや仕事などで悩んでいませんか

相談無料
 秘密厳守

一人で悩まず
 ご相談ください

生活のこと
 ◆収入が不安定で生活費のやりくりで困っている
 ◆借金や滞納金が多くてどうしたらいいかわからない

仕事のこと
 ◆仕事をしたいがなかなか決まらない
 ◆仕事が長続きしない
 ◆失業した

西海市生活支援相談室 電話 29-4081
 西海市社会福祉協議会内
 西海市西海町黒口郷1477番地1
 相談日：月曜日～金曜日（8時30分～17時30分）
 Mail：chiiki@shakyo-saikai.jp

長崎県社会福祉協議会 会長表彰

長年にわたり社会福祉の充実発展に寄与した個人や団体の功績を称える「長崎県社会福祉協議会会長表彰」が行われ、西海市から4人が受賞されました。受賞された方々おめでとうございます。

令和6年度長崎県社会福祉協議会
 会長表彰被表彰者名簿

- 各種相談員功労者
 松山 一成 様
- 社会福祉施設職員功労者
 瀬川福社会 山口 成子 様
- 社会福祉協議会職員功労者
 廣澤 英俊 様
 山野 順子 様

ご寄付・お礼

○10/16、12/15受付分
 社会福祉事業資金として次の方々から心温まる善意の寄付をいただきました。地域福祉活動などに大切に活用させていただきます。皆さまのご厚情に心から感謝申し上げます。

なお、本会への寄付金は税額控除の対象となります。

▽忌明け寄付

西彼町
 ◆堀池久夫様 (故 敏子様)
 ◆川口純江様 (故 昭二様)
 ◆森 浩三様 (故 キチ様)

西海町
 ◆松本りえ子様 (故 悟様)
 ◆岡 幸次郎様 (故 田鶴子様)

大島町
 ◆浮城宗孝様 (故 タカ様)
 ◆峯山洋子様 (故 勲様)
 ◆山上幸夫様 (故 昭幸様、浪枝様)

匿名希望 2件
 ◆山田廣行様(故 イツ子様)
 ◆匿名希望 2件

▽一般寄付

◆ホワイトパンプキン様

崎戸町
 ◆西 サツ子様(故 昭三様)

大瀬戸町
 ◆本山由紀子様 (故 勉様)
 ◆楠本明彦様(故 キヨミ様)
 ◆笹野美智子様(故 弘子様)
 ◆中村政子様 (故 逸雄様)
 ◆吉川笑子様 (故 進様)
 ◆西上秀子様 (故 秀人様)
 ◆谷口まゆみ様 (故 荒木ミワ様)

山口テルミ様(故 健次様)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今号の取材では、新年の抱負、交流会、チャリティーイベント、研修会など多くの方にお会いし、様々な出会いがありました。今年の私の抱負は、「常にアンテナを張って色々なところに取材に行きたい」です。本年も社協だより「すくらむ」をどうぞよろしくお願い致します。(D)